２０１５年度　公益社団法人　乙訓青年会議所　委員長方針

絆委員会　委員長　三浦　靖

乙訓青年会議所は、青年としての英知と勇気と情熱を胸に、先輩諸兄から３５年に渡って受け継がれてきた気概を継承し、地域の負託と信頼に応えるべく活動しております。この活動を継続させる先には、私達が目指す「明るい豊かな社会」の実現があります。今年度３６年目を迎える乙訓青年会議所は、「ＳＴＡＹ　ＤＲＥＡＭ」の想いを胸に、青年会議所運動と活動の意義をメンバー全員で意識の共有を図り、その中で「やる時はやる、遊ぶ時は遊ぶ」のメリハリを付け、相手の事を思いやり「ええもんはええ、あかんもんはあかん」と意見を出し合い、夢を語り合い、何でも真剣に相談出来る人間関係を築く為には、真の絆を構築する必要があります。

そこで、１月例会及び新春交歓会では、「ＳＴＡＹ　ＤＲＥＡＭ」に込められた熱い想いと、今年度乙訓青年会議所の方向性を出席者全員に理解して頂きます。そして、行政関係、特別会員、他ＬＯＭとの交流を図り、感謝の気持ちをしっかりと相手にお伝え致します。会員交流会では、絆づくりのスタートとして、まずは委員会内の交流を深めて頂きます。３ＬＯＭ合同交流会では、３ＬＯＭが交流をする事で更に友好を深め、活動の可能性を広げる事を目的と致します。８月例会及び納涼会では、前半の活動を振り返り、後半に向けより一層絆を深めて頂く交流の場と致します。又、ご家族や社員の方にもご参集賜り、青年会議所活動が家族と社員の理解と協力の上で成り立っているという事を忘れる事なく感謝の気持ちをしっかりと伝えると共に、メンバーの志と活動内容を知って頂く機会を設け、私達の賛同者となって頂く設えを致します。１２月卒業式及び忘年会では、卒業生の青年会議所活動の功績を称え、心に残る感動的な設えを致します。忘年会ではメンバーの１年間の活動を労い、今年１年の活動で深まった絆を確認し合うと共に、次年度への活力となる設えを実施致します。又、乙訓青年会議所活動の更なる拡充の為、同室である魅力伝播委員会と協力し率先して会員拡大活動に取り組んで参ります。公益団体として大きな担いでもある、地域の未来を担う子供達を育てる為の青少年育成活動、地域の活性化に繋がるまちづくり活動にも積極的に取り組んで参ります。

結びに、まずは私達委員会メンバー全員に、人と関わりを持つ事の意義を理解して頂きます。即ち、人と関わる事で自分が変わり、自分が変わる事で自分の人生が変わる。同様に自分と関わる事で人も変わるという事を理解して頂きます。人は一人として同じではありません。その状況の中、自分が人と関わる事で、そこから何を感じ、何を思うか。その感じた自分の想いを一人の人間として、自分の五感全てを持って伝える。その思いが他のメンバーに伝播し、事業を重ねていく中で真の絆が出来ると考えます。メンバー間に真の絆が出来る事で、乙訓青年会議所が更に一致団結した団体になると確信致します。「相手の事を想いながら、心で感じ、五感で伝える」。その気持ちで１年間行動して参ります。